



# 市史へんさん

第 281 号

令和 4 年 8 月 1 日

小松市史編纂担当

へんさんだより

8 月 7 日に立秋を迎えます。今年は戻り梅雨もあって、7 月後半は雨が多く、各地で線状降水帯も発生して多大な被害をもたらしました。天候の不安定な日々が続く、立秋が近いとはいえ、じめっとした暑さの毎日です。

この暑さに追い打ちを掛けるように、コロナにまた「Ba. 5」という新たな変異株が出現し、県内でもこれまでにない 1,500 人を超える感染者が記録されています。ようやく NO マスク宣言も近かったのですが、マスクはまだまだ必須の日々です。この猛暑にマスクは息苦しいですが、暑さが和らぐ処暑も 23 日に控えていますので、暑さ対策と、夏バテ防止にスタミナ食を取って、この夏を乗り切りましょう!!

## 『小松旧記』に見る火災史料



先々号から、当地方の江戸期の地震、水害状況を『小松旧記』から拾い上げて紹介してきました。どの災害も人為的には防げない天災でした。今回より、皆様の心掛け次第で防ぐことのできる火災について歴史を紐解いてみました。小松市民が火災の歴史を語る上で、まず思い付くのが昭和の大火でしょう。今年、昭和 7 年(1932)の橋南の大火から 90 年を数えます。この節目に再度防災への認識を高めたくその歴史をシリーズで振り返ります。

下記は、『小松旧記』に載る火災記事を一覧にまとめたものです。一覧表を見ると、小松の町並みは人家が密集していたため火事が多く、火消しの活躍が頻繁だったことが窺えます。

| 年       |      | 月日        | 出火元    | 被害状況                                        |
|---------|------|-----------|--------|---------------------------------------------|
| 和暦      | 西暦   |           |        |                                             |
| 享保 3 年  | 1718 | 3 月 7 日   | 土居原町   | 午後 6 時頃百姓小兵衛住家出火。付近 6 軒焼失。                  |
| 享保 13 年 | 1728 | —         | 川越理左衛門 | 小松城勤務川越理左衛門方出火。類焼も無く済む。                     |
| 享保 14 年 | 1729 | 9 月 8 日   | 八日市町   | 魚屋四郎兵衛貸家出火。八日市町・龍助町・大文字町・東町計 150 軒消失。       |
| 享保 15 年 | 1730 | 6 月 22 日  | 寺町真行寺  | 寺町 35 軒焼失。85 石の御貸米を類焼家に貸し渡す。                |
| 享保 18 年 | 1733 | 11 月 22 日 | 中町     | 大正持屋源助方出火。隣家 1 軒類焼。妻と娘が逃げ遅れる。               |
| 元文 4 年  | 1739 | 4 月 28 日  | 龍助町    | 菅谷屋勘右衛門方出火。龍助町・八日市町・東町・土居原町他計 179 軒焼失。      |
| 延享 4 年  | 1747 | 2 月 23 日  | 龍助町    | 清水屋借家九兵衛出火。龍助町・大文字町・寺町・本鍛冶町他計 205 軒消失。      |
| 宝暦 3 年  | 1753 | —         | 細工町    | 詳細状況は不明。                                    |
| 明和 6 年  | 1769 | 11 月 20 日 | 八日市町   | 真夜中に出火。61 軒と 1 ヶ寺消失。朝 6 時に鎮火。               |
| 安永 5 年  | 1776 | —         | 地子町    | 32 軒消失。月日等詳細は不明。                            |
| 文政 4 年  | 1821 | 3 月 22 日  | 八日市地方  | 午前 10 時過八日市地方の藤内出火。14 軒を焼失。11 時に鎮火。         |
| 文政 4 年  | 1821 | 4 月 13 日  | 大文字町   | 午後 7 時軽海屋平右衛門借家宗助宅出火。近隣 4 軒焼失。9 時頃鎮火。       |
| 文政 5 年  | 1822 | 6 月 22 日  | 安宅町    | 玄覺屋甚四郎方出火。家屋 237 軒・土蔵 2 軒・納屋 64 軒・寺 2 ヶ寺焼失。 |
| 文政 6 年  | 1823 | 11 月 3 日  | 串茶屋    | 芝居小屋傍から発火。串茶屋の大半を焼失。一両年で繁華な遊廓を再興。           |
| 天保 2 年  | 1831 | 9 月       | 串村     | 家屋 100 軒焼失。                                 |
| 天保 3 年  | 1832 | 3 月 2 日   | 地子町    | 借家山田屋喜兵衛宅出火。地子町・京町 17 軒焼失。4 軒毀家。御貸米貸出。      |
| 天保 4 年  | 1833 | 2 月 22 日  | 東町     | 勸婦寺と勝光寺の間から出火。日蓮宗本成寺・町家 6 軒焼失。              |
| 天保 4 年  | 1833 | 4 月 12 日  | 龍助町    | 釜屋武右衛門方出火。橋南全滅に近し。793 軒焼失。20 軒半焼。           |
| 天保 8 年  | 1837 | 11 月 25 日 | 松任町    | 釜屋志ゆん借家畳屋源三郎方出火。松任町 64 軒類焼。                 |
| 嘉永 6 年  | 1853 | 12 月 7 日  | 松任町    | 松梨屋與四兵衛方出火。家屋の後部焼失。延焼は無かった。                 |
| 安政 2 年  | 1855 | 2 月 20 日  | 安宅町    | 徳屋與四兵衛方出火。1 軒のみの焼失だが家人は焼死。                  |
| 文久元年    | 1861 | 2 月 22 日  | 泥(大川)町 | 40 軒焼失。                                     |

## 『新修 小松市史 資料編 18 近現代』第13章の見どころ

小松の近現代史を物語る上で、「小松飛行場」、「鉍毒問題」、「加賀三湖の干拓」は他地域にない特徴的な出来事であることから、第3部として章立てして紹介する。第12章の「小松飛行場」は令和3年10月1日号(第271号)に掲載済みであり、第13章「鉍毒問題」の見どころを紹介する。

当地では、明治末期から大正期にかけて、全国的にも上位の銅生産量を誇った尾小屋鉍山が産業を支えていた。しかし、一方では鉍山から流れる鉍毒によって森林や農地への被害が及び、度重なる補償交渉が行われてきた。当初は亜硫酸ガズが原因とし、これを中和する石灰の補償金が出されていたが、昭和40年代に入り、全国で公害問題が叫ばれると、当市でもカドミウム汚染が疑われ、調査が開始された。第1節ではその史料を挙げる。



カドミウムによる土壌汚染が梯川流域(写真)でも認められ、「土壌汚染防止法」が適用されて国・県・市で調査が実施された。その結果が第2節に示される。その影響で生産米の出荷が見送られた農民の苦悩も紹介する。

昭和52年(1977)になって、ようやく土地改良事業が実施されることになり、計画から17年の歳月を経て、ようやくカドミウム汚染問題に終止符が打たれ、市内全域が「汚染対策地域」の指定から解除された。この間の経緯を、事業費用や調査報告書を示し、第3節では、その足跡を振り返る。この後、環境回復や食の安全等の諸政策で、市は「環境王国」の認定を受けることになる。

### <7月の活動状況>

- ・ 7月 1～3日 尾小屋鉍山関係資料(勘稼塘)調査
- ・ 7月 3日(日) 通史(近現代)部会
- ・ 7月 3日(日) 「小松釘」資料調査
- ・ 7月 7・21日 方言地図・イラスト打合せ
- ・ 7月 7・13日 社会福祉関係資料調査
- ・ 7月 9日(土) 文学史聞取り調査
- ・ 7月 13・29日 梯川改修関係資料調査(石川県庁)

『新修 小松市史 資料編 18 近現代』DVD付  
定価: 5,100円  
販売所: 市史編纂担当・うつのみや・明文堂書店



### <8月の活動予定>

- ・ 8月 5日(金) 曳山関係聞取り調査
- ・ 8月 7～11日 北海道移民関係資料調査(帯広方面)

### <8月のカレンダー> 開室時間 10:00～17:00(火～金)/9:00～17:00(土)

| 日曜日  | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 7/31 | 8/1 | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   |
| 7    | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  |
| 14   | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  |
| 21   | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  |
| 28   | 29  | 30  | 31  | 9/1 | 9/2 | 9/3 |

\*   は市史編纂担当の事務局は閉室しています。

小松市史編纂担当(小松市立図書館2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail [hensansitu@city.komatsu.lg.jp](mailto:hensansitu@city.komatsu.lg.jp)
- ・ URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

